

タイトル「**2021年度危機管理学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**(共通)**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1216		
科目名	自主創造の基礎 2		
担当教員	田 昌禾		
対象学年	1年,2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	金 2		
講義室	1314	単位区分	必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	総合教育		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	リテラシー キャリア		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP2-A 〔日本の精神文化を理解し多様な価値を受容する姿勢〕 地球的視点で物事を多面的に捉え、異文化との交流の重要性を認識するとともに、異文化との交流を積極的かつ多面的に行い、相互理解を促進し互恵関係を構築することができる。 DP2-B 〔自己の特性を理解し社会に貢献しようとする姿勢〕 自己の存在意義を知り、自らを高め続けようと努力することができる。 DP4-F 〔探究力・課題解決力〕 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP4-I 〔理解力・分析力〕 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 DP5-J 〔創造的挑戦力・達成力〕 コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。 DP7-L 〔協働力・牽引力〕 集団的に課題解決を行う際に、自己の立場や責任を認識し、互いに集団の連帯を強めることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 A2（10%）異文化適応 B1（30%）自己啓発 C1（5%）倫理的思考・社会認識 I1（10%）理解と分析と読解 J1（10%）創造的思考 L1（30%）チームワーク M1（5%）統合的・応用的学修		
教員の実務経験	なし		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 2. 進行情 ~ 3. 発展期		
科目概要・キーワード	日本大学において全学的に導入した初年次教育科目で、自主創造の基礎1を受け、さらに創造性を伸ばすための発展的なプログラムを実践します。社会問題に関する議論や発表を交えながら、社会とのつながりを意識させるため外部の有識者や専門家との交流も取り入れ、自分の研究や学びが社会にどのように結びついているか、どのような社会貢献につながるかを意識させます。さらには個人研究を確立するための、研究方法、調査方法について学ぶことにより、2年次での専門科目での学びに対する自主性、創造性を高めます。なお、授業の一部を補完する		

	ため、あるいは代替するためにオンライン授業を取り入れる場合があります。開講曜日・時限に授業動画配信及び課題等を提示します。 (キーワード) キャリア、チームワーク、学修	
授業の趣旨	■副題 自主創造の基礎1で身に付けたスキルをチームで活用してみましょう。 ■授業の目的 自主創造基礎1で身につけたスキルを活用して危機管理の専門領域を学ぶための素養を身につけることを目標としています。そのために、1. 具体的には、2年生から始まる領域の選択を行うための合同演習を行い、将来のキャリアに結び付ける。2. 4領域の特徴と領域に関連するキャリアを調べて報告することで、領域とキャリアのより深い理解を促すことを目標としています。そして、3. あらかじめ設定された将来のキャリアに関するテーマに関して、他者と意見交換を行いながら、その成果をレポート課題としてまとめることも目標としています。 ■授業のポイント 自主創造基礎1で身につけたスキルを活用し、危機管理の専門領域を学ぶための素養（社会人としての基礎知識・技法・態度）を身につけることを目標としています。 1. 具体的には、2年生から始まる領域の選択を行うための合同演習を行い、将来のキャリアに結び付ける 2. 4領域の特徴と領域に関連するキャリアを調べて報告することで、領域とキャリアのより深い理解を促す 3. あらかじめ設定された将来のキャリアに関するテーマに関して、他者と意見交換を行いながら、その成果をレポート課題としてまとめる 2年次以降の基礎演習の選択、キャリアの選択ができるようにキャリア教育の側面を重視していきます。	
総合到達目標	■リーダーシップを発揮できる。 ■多様な考えを認めることができる。 ■他者の意見を傾聴できる。 ■他者の考えを正しくとらえて理解することができる。 ■協働で情報収集することができる。 ■自分の考えを他者にわかりやすく伝えることができる。 ■解決方法を見出し、協働で検討し、提案することができる ■将来のキャリアについて説明することができる。	
成績評価方法	■成績評価方法 授業参加度（60%） （成績評価の観点）チームワークへの貢献については、教員がチェックシートを基に評価をします。また、毎授業のワークシートの提出し、それを評価基準に基づき評価します。 （フィードバックの方法）貢献については事前に授業中に作業における役割や分担を決めさせ、どのような点を評価するのか話をします。また、ワークシートは提出後の授業で評価について説明をします。 レポート課題（20%）2回 （成績評価の観点）レポート課題はWCに関する評価基準に基づき評価を行います。また、期末レポートについてはループリック評価の基準に従い評価を行います。 （フィードバックの方法）両方の課題については、提出後に授業でどのような解答が望ましいのか解説を行います。 プレゼンテーション課題（20%）1回 （成績評価の観点）プレゼンテーションのループリック評価に基づき評価を行います。 （フィードバック方法）プレゼンテーション報告会で教員が講評を行うので、その際にフィードバックを行います。	
履修条件	必修のため、特にありません。	
履修上の注意点	特にありません。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ 自主創造の基礎2のスタートアップ1 ②授業概要 授業の進め方や評価などのガイダンスを行うとともに、将来のキャリアデザインに向けた説明を行い、今後の自分のキャリアを見据えた学修を行うことを目的とする（A2、B1、C1、I1、J1、L1、M1）。 ③予習（120分） 後学期の学修目標と前学期の学修課題について考えてくる。 ④復習（120分） ポートフォリオとキャリアデザインシートから後学期の目標を考えてくる。

2	①授業テーマ 自主創造の基礎2 スタートアップ2 ②授業概要 学修ポートフォリオ、キャリアデザインシートをもとにして、2年生次以降の学びについて考えることを目的としている（A2、B1、C1、I1、J1、L1、M1）。 ③予習（120分） 後学期の学修目標と前学期の学修課題について考えてくる。 ④復習（120分） ポートフォリオとキャリアデザインシートから後学期の目標を再度考えてくる。
3	①授業テーマ 危機管理基礎演習のキャリアについて ②授業概要 危機管理基礎演習の概要についての説明を受けて、将来の自分の進みたい領域やキャリアについて理解することを目的としている（A2、B1、C1、I1、J1、L1、M1）。 ③予習（120分） 事前に基礎演習の志望する先生の授業などを調べて、どういう学びをするのか検討をする。 ④復習（120分） ガイダンスを受けて自分のキャリアと学修について検討する。
4	①授業テーマ 危機管理の領域・キャリア選択について考える1 ②授業概要 2年次以降のカリキュラムの説明、キャリアの選択、災害、パブリック、グローバル、情報の4領域の特徴に関する説明を聞き、2年次以降のキャリア選択および領域選択に関して理解することを目的としている（A2、B1、C1、I1、J1、L1、M1）。 ③予習（120分） 志望する領域の科目を調べて、どういう学びをするのか検討をする。 ④復習（120分） ガイダンスを受けて自分のキャリアと学修について検討する。
5	①授業テーマ キャリアについてのグループワーク1 ②授業概要 2年次以降のキャリアについての説明を受けた上で、自分の将来のキャリアや関連する領域について学生がグループで考えることを目的としている（A2、B1、C1、I1、J1、L1、M1）。 ③予習（120分） 志望する領域と他の領域について調べてくる。 ④復習（120分） 他の学生と話して再度自分のキャリアと学修について検討する。
6	①授業テーマ キャリアについてのグループワーク2 ②授業概要 2年次以降のキャリアについての説明を受けた上で、自分の将来のキャリアや関連する領域について学生がグループで考えることを目的としている（A2、B1、C1、I1、J1、L1、M1）。 ③予習（120分） 志望する領域と他の領域について調べてくる。 ④復習（120分） 他の学生と話して再度自分のキャリアと学修について検討する。
7	①授業テーマ キャリアについてのグループワーク3 ②授業概要 2年次以降のキャリアについての説明を受けた上で、自分の将来のキャリアや関連する領域について学生がグループで考えることを目的としている（A2、B1、C1、I1、J1、L1、M1）。 ③予習（120分） 志望する領域と他の領域について調べてくる。 ④復習（120分） 他の学生と話して再度自分のキャリアと学修について検討する。
8	①授業テーマ ワールドカフェ ②授業概要

	日本大学の他学部の学生との交流と議論を通じて、自分のキャリアや将来について他者に説明できるになる（A2、B1、C1、I1、J1、L1、M1） ③予習（120分） 事前に配布されたWCの案内を読み、前期のがくないWCの内容を精査する。 ④復習（120分） WCで議論した内容について検討し、配布されたレポートを書く。
9	①授業テーマ キャリアについてのグループワーク4（報告会） ②授業概要 2年次以降のキャリアについての説明を受けた上で、自分の将来のキャリアや関連する領域について学生がグループで考えをまとめ報告することを目的としている（A2、B1、C1、I1、J1、L1、M1）。 ③予習（120分） 自分の担当のPPTを作成してくる。 ④復習（120分） 報告を聞いたうえで、再度自分のキャリアと学修について検討する。
10	①授業テーマ 危機管理について考える1 ②授業概要 危機管理に関する外部講師と学部教員によるパネルディスカッションを聞き、危機管理の職業に関して自ら考え、理解することを目的としている（A2、B1、C1、I1、J1、L1、M1）。 ③予習（120分） 危機管理に関わる気象情報について調べてくる。 ④復習（120分） 講演を聞いたうえで、気象情報が危機管理にどのように応用できるか検討してみる。
11	①授業テーマ 危機管理について考える2 ②授業概要 前回のパネルディスカッションを受けて、危機管理に関する職業に就くために必要なマインドやスキルにはどのようなものがあるのかについて、グループで議論し理解を深めることを目的としている（A2、B1、C1、I1、J1、L1、M1）。 ③予習（120分） 危機管理に関わる気象情報について調べてくる。 ④復習（120分） 気象情報が危機管理にどのように応用できるか議論をした結果から再度その有用性について検討してみる。
12	①授業テーマ レポートの書き方 ②授業概要 自主創造2のレポート課題を作成するにあたり、レポートの書き方について学び、そのスキルを修得することを目的としている（A2、B1、C1、I1、J1、L1、M1）。 ③予習（120分） レポートの書き方に関するマニュアルを読んでくる。 ④復習（120分） レポートのマニュアルを再度読んでみる。
13	①授業テーマ レポート作成作業1 ②授業概要 レポート課題の作成作業を進めるために、前回の授業を踏まえ論理的に書くための構成を行い、ロジカルシンキングが身についているのか確認することを目的としている（A2、B1、C1、I1、J1、L1、M1）。 ③予習（120分） レポートの問題意識の部分を作成する。 ④復習（120分） 書いた内容で指摘を受けた箇所を修正する。
14	①授業テーマ レポート作成作業2 ②授業概要 レポート課題の作成作業を進めるために、レポート課題の形式要件など必要な要素網羅しているのかどうか確認することを目的としている（A2、B1、C1、I1、J1、L1、M1）。

	③予習（120分） レポートの内容の内容に関する部分を書いてくる。 ④復習（120分） 指摘を受けた個所を修正してくる。
15	①授業テーマ 自主創造の基礎2の振り返り ②授業概要 自主創造の基礎2で行った授業を振り返り、授業で学んだスキルが身についているのかどうか確認を行うことを目的としている（A2、B1、C1、I1、J1、L1、M1）。 ③予習（120分） レポートの形式要件などが整っているか最終確認を行う。 ④復習（120分） 再度、自分のキャリアや2年次の学修について検討してみる。
関連科目	自主創造の基礎1
教科書	『"自主創造"のためのLearning Guide（第5版）』（日本大学FD推進センター，2016年）
参考書・参考URL	開講時に指示します。
連絡先・オフィスアワー	授業時に指示します。
研究比率	－

